

親子で取り組むハッピー桃太郎～トイレ掃除で心を磨こう～

11月29日(日)、宇部掃除に学ぶ会の方々のご指導のもと、本校のトイレを徹底的に掃除しました。この取組に参加したのは86名で、ハッピー桃太郎運動に志願した生徒45名、保護者15名、教職員7名そして宇部掃除に学ぶ会19名です。

ー掃除の流れー

- ①トイレ内の道具をすべて外に出し、新聞紙の上にきれいに並べる。
- ②天井、壁をきれいに拭く。
- ③一人が一便器を担当し、便器が真っ白になるまで磨きあげる。
- ④③の作業と同時に、別担当はミズコシについた尿石を磨き落とす。
- ⑤トイレ内の床をぞうきんで拭きあげる。



便器にこびりついた尿石は思いのほか手強く、磨き落とすのは一苦労でした。はじめての体験でしたが、見違えるようにきれいになったトイレを見て、達成感を味わったのは、生徒だけではなく、保護者の方々や教職員も同様でした。

生徒の感想より

僕は、こういった本格的な掃除ははじめてだったので、最初は少し汚いなど気にして掃除をしていました。ですが、次第に慣れてきて、汚いを気にすることなく、掃除に取り組むことができました。僕はトイレ掃除で、物を大切に扱うこと、しっかりと自分に向き合って真剣に物事に取り組むことを学びました。(3年生)



はじめは手でトイレ掃除をするのは少し反発があったけど、やっているうちに手で洗うのも良いな、明日みんなはどんな反応をしてくれるのかなと思いました。今日掃除をして、キレイにしたところをこれからも維持したいと思いました。(3年生)



トイレはめちゃくちゃ臭かったです。臭すぎて死にそうでした。最初はいやだったけど、だんだんキレイになっていくのがとても楽しかったです。せっけんみたいなものをいっぱい使ってやりました。みんな笑顔でやりました。(2年生)

今日は汚いトイレをすみすみまできれいにしました。最初は本当にきれいになるのだろうかと思いました。やってみると、掃除を楽しんでいる自分がいました。トイレなどをきれいにするによって自分の心の中もきれいになりました。汚れをとるのは大変だけど、きれいになると達成感があって気持ちよかったです。トイレ掃除をすることによって心が磨けて、小さなことにも気づく人になれそうです。(3年生)

最初的时候にミズコシを開けてとてもくさかったです。でもトイレがきれいになると、トイレの中の空気も変わったと思います。はじめて長い時間トイレそうじをやってみて、必死、夢中とか、無言が身についたと思います。(3年生)



私は「マイ便器」をみがきました。私はゴム手ぶくろをかばんに忘れて、素手でやっていました。だからその分、いっしょうけんめいできたと思います。(1年生)

めっちゃ臭かったけど、すごく楽しかったです。小便するときの丸いやつ(ミズコシ)を洗いましたが、すごく汚く、ちょっと引きましたが、頑張りました。するとすごく汚かったのにキレイになったのですごくうれしかったです。一緒にやっていたボランティアの人の話を聞いて楽しかったです。次の機会があったら、今日の2倍も元気をだしてがんばりたいです。(2年生)

最初はスポンジで磨くのに抵抗があったけど、やっていくうちにどんどんきれいになっていくので気持ちよかったです。家のベンキもピカピカにしようと思います。便器も心もピカピカになったのでよかったです。(1年生)



僕は、今日のトイレ掃除から2つのことを学びました。1つめは何か一つのことを集中してやると自然に無言になることです。このことは、日々の掃除でも同じだと思います。掃除に集中して取り組むことで、無言清掃につながると思います。2つめは掃除をしてきれいになるとやはり気持ちがいいということです。自分が一生懸命に磨いたトイレを掃除が終わった後に見返してみると、以前とはまるで違うピカピカのトイレがそこに

あって、とても感動しました。(3年生)

一人ずつ便器をきれいにしました。はじめは黒ずんでいるところが多くてこするのが大変だったけれど、がんばった便器が真っ白になっているのでうれしかったです。私が担当したところは先生たちの使うところなので、先生たちが私がきれいにしたトイレを使ってくれると思うと、心がすがすがしくなった気がします。



この真剣さを他の生活のところに生かせたらなと思います。(2年生)

保護者の感想より



私はミスコシ担当で、なかなか汚れがとれず大変な作業でしたが、掃除に学ぶ会の方の「掃除に学ぶ」という言葉を思いだし、掃除をさせて頂くという謙虚な心でさせて頂いて、途中から無心でしていました。とてもキレイになって子どもたちも一生懸命取り組んでいる姿をみれてとても良かったです。(2年生、3年生保護者)

今日は親だけの参加でしたが、次回は子どもにも参加させたいと思いました。生徒たちは無言で一生懸命時間いっぱい掃除をしていて感心しました。今日からイヤイヤ掃除をするのではなく、謙虚な気持ちでいろいろなところを磨いていきたいです。

ミスコシを白くキレイにする作業をさせていただきました。尿石がすごく1コをきれいにするのに時間もかかり、臭いときたないので、正直大変な作業にあたってしまったと思いました。しかし、1コを白くピカピカにした時には、そのことは気にならなくなり、ただ磨くことに夢中になっていました、一緒に作業させていただいた方の話を聞け、「トイレ掃除で心を磨く」ということが少し理解できました。勉強になりました。(3年生保護者)

「ウワサのトイレ掃除」を体験して、聞いていたとおりでした。躊躇なく素手で掃除をされる姿に考えさせられました。主に私は備品等を拭いてきれいにする作業をしましたが、トイレだけでなく、その作業の大事さも感じました。また、片づけも無駄なく、スムーズにできるよう指導されていたことが印象に残りました。掃除一つでも合った道具に合ったやり方ですること、より掃除ができることを知りました。洗剤量の少なさに驚きました。(3年生保護者)

とても良い経験をさせていただきました。今回は約100人の参加でしたが、桃山中の全生徒が一度は参加していろいろなことを感じ学んで欲しいと思いました。できれば年2回すると綺麗な状態も維持できるのではないのでしょうか。(1年生保護者)

12月2日(火)の生徒集会では、美化委員会が活動のようすを発表しました。各学年の代表者が感想を全校生徒に伝え、全校生徒で体験を共有しました。今回の体験で得られた学びは、決して当日に限られたものではなく、また、参加した生徒だけのものでもなく、本校が行っている無言清掃にも通じるものです。本校では、豊かな心を育むためにさまざまな体験活動を実施しています。